

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2015年6月19日から2020年6月12日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・米国高配当成長株式ファンド(Wプレミアムコース)(毎月決算型)	外国投資信託「ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)」および親投資信託「東京海上マネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。
	ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)	米国の金融商品取引所に上場されている株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
	東京海上マネープールマザーファンド	円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・米国高配当成長株式ファンド(Wプレミアムコース)(毎月決算型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への直接投資は行いません。</li> <li>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
	ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。</li> <li>同一発行体への投資割合は、原則として純資産総額の10%以下とします。</li> </ul>
	東京海上マネープールマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資は行いません。</li> <li>外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。</li> </ul>
分配方針	第1期決算時には、分配を行いません。第2期以降の毎決算時に、原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。 収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

## 東京海上・米国高配当成長株式ファンド (Wプレミアムコース)(毎月決算型) 〈愛称 イーグルハイ〉

### 満期償還 運用報告書(全体版)

第55期	(決算日)	2020年1月14日)
第56期	(決算日)	2020年2月14日)
第57期	(決算日)	2020年3月16日)
第58期	(決算日)	2020年4月14日)
第59期	(決算日)	2020年5月14日)
第60期	(償還日)	2020年6月12日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・米国高配当成長株式ファンド(Wプレミアムコース)(毎月決算型)〈愛称 イーグルハイ〉」は、このたび、2020年6月12日をもちまして満期償還となりました。ここに、運用経過と償還の内容をご報告申し上げます。

長年のご愛顧に対し厚くお礼申し上げますと共に、今後とも当社ファンドにつきましてお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。  
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額	
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落				中 率
	円 銭		円		%	%	百万円	
31期(2018年1月15日)	8,259		85		1.0	0.1	95.3	1,512
32期(2018年2月14日)	7,604		85		△ 6.9	0.1	96.6	1,296
33期(2018年3月14日)	7,577		85		0.8	0.1	98.7	1,260
34期(2018年4月16日)	7,387		85		△ 1.4	0.1	96.1	1,185
35期(2018年5月14日)	7,488		85		2.5	0.1	97.2	1,184
36期(2018年6月14日)	7,449		85		0.6	0.1	97.6	1,149
37期(2018年7月17日)	7,489		85		1.7	0.1	98.6	1,100
38期(2018年8月14日)	7,358		85		△ 0.6	0.1	99.1	1,053
39期(2018年9月14日)	7,447		85		2.4	0.1	97.1	1,047
40期(2018年10月15日)	7,115		85		△ 3.3	0.1	97.1	999
41期(2018年11月14日)	7,032		85		0.0	0.1	97.2	986
42期(2018年12月14日)	6,811		85		△ 1.9	0.1	97.2	954
43期(2019年1月15日)	6,371		85		△ 5.2	0.1	95.5	896
44期(2019年2月14日)	6,643		85		5.6	0.1	96.5	926
45期(2019年3月14日)	6,661		85		1.6	0.1	98.0	914
46期(2019年4月15日)	6,681		85		1.6	0.1	98.5	913
47期(2019年5月14日)	6,305		85		△ 4.4	0.1	97.1	853
48期(2019年6月14日)	6,294		85		1.2	0.1	96.8	854
49期(2019年7月16日)	6,352		85		2.3	0.1	95.2	877
50期(2019年8月14日)	6,041		85		△ 3.6	0.1	95.3	831
51期(2019年9月17日)	6,173		85		3.6	0.1	95.2	851
52期(2019年10月15日)	6,017		85		△ 1.2	0.1	95.3	828
53期(2019年11月14日)	6,185		85		4.2	0.1	95.3	820
54期(2019年12月16日)	6,230		85		2.1	0.1	96.2	818
55期(2020年1月14日)	6,275		85		2.1	0.1	94.9	826
56期(2020年2月14日)	6,250		85		1.0	0.1	96.6	808
57期(2020年3月16日)	4,598		85		△25.1	0.1	94.1	600
58期(2020年4月14日)	4,668		85		3.4	0.1	97.1	589
59期(2020年5月14日)	4,554		0		△ 2.4	0.1	94.3	559
(償還時)	(償還価額)							
60期(2020年6月12日)	4,601.70		—		1.0	—	—	528

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第55期	(期 首) 2019年12月16日	円 銭 6,230	% —		% 0.1	% 96.2
	12月末	6,325	1.5		0.1	94.9
	(期 末) 2020年1月14日	6,360	2.1		0.1	94.9
第56期	(期 首) 2020年1月14日	6,275	—		0.1	94.9
	1月末	6,191	△ 1.3		0.1	95.2
	(期 末) 2020年2月14日	6,335	1.0		0.1	96.6
第57期	(期 首) 2020年2月14日	6,250	—		0.1	96.6
	2月末	5,503	△12.0		0.1	95.0
	(期 末) 2020年3月16日	4,683	△25.1		0.1	94.1
第58期	(期 首) 2020年3月16日	4,598	—		0.1	94.1
	3月末	4,556	△ 0.9		0.1	97.1
	(期 末) 2020年4月14日	4,753	3.4		0.1	97.1
第59期	(期 首) 2020年4月14日	4,668	—		0.1	97.1
	4月末	4,858	4.1		0.1	94.7
	(期 末) 2020年5月14日	4,554	△ 2.4		0.1	94.3
第60期	(期 首) 2020年5月14日	4,554	—		0.1	94.3
	5月末	4,601	1.0		0.1	92.7
	(償還時) 2020年6月12日	(償還価額) 4,601.70	1.0		—	—

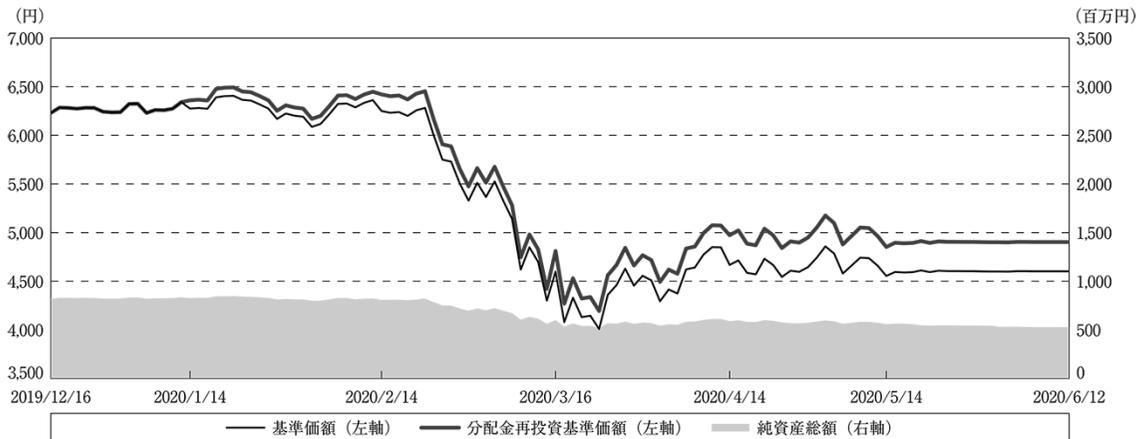
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

(2019年12月17日～2020年6月12日)

## ■作成期間中の基準価額等の推移



第 55 期 首： 6,230円

第60期末(償還日)： 4,601円70銭 (既払分配金(税込み)：340円)

騰 落 率：△ 21.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年12月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ◇基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・株式および通貨のオプション・プレミアムの獲得

## マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が大幅に下落したこと
- ・株価上昇による株式コール・オプションの評価損

## ■投資環境

### 【米国株式市場】

当作成期の米国株式市場は下落しました。当作成期初、米中貿易協議や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展が好感されて、米国株式市場は上昇して始まりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、实体经济や企業業績が悪化するとの懸念から投資家のリスク回避姿勢が急速に強まり、米国株式市場は大幅に下落しました。その後、FRB（米連邦準備制度理事会）による緊急利下げや各国政府による大規模な財政出動が投資家心理を下支えしたほか、米国の製薬会社による新型コロナウイルスのワクチン開発で有効な結果が示されたことなどから、米国株式市場は上昇に転じましたが、前作成期末比では下落しました。

### 【為替市況】

当作成期の米ドル円為替レートは、円高米ドル安となりました。新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大するなか、FRBが緊急利下げを実施したことなどを受けて急激に円高米ドル安が進行した後、リスク回避の現金化を背景とした米ドル需要の高まりから円安米ドル高となるなど、2020年3月の為替市場は振れの大きい展開となりました。当作成期末にかけては景気の底入れ期待から一時リスク選好姿勢が強まり、円安米ドル高となる場面がありましたが、FRBが2022年末までゼロ金利を維持することを表明したことなどから米ドルは下落に転じ、前作成期末比で円高米ドル安となりました。

S&P500種指数（配当込み）



(円/米ドル) 為替の推移



(注) 為替レートはWMロイターを使用しており、基準価額算定の基準で記載しています。

## ■ポートフォリオについて

### <東京海上・米国高配当成長株式ファンド(Wプレミアムコース)(毎月決算型)>

「ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)」(以下、外国投資信託証券)および「東京海上マネーブルマザーファンド」(以下、親投資信託)を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額(税引前配金再投資)は、主に外国投資信託証券の値動きを反映し、21.3%下落しました。

### <外国投資信託証券>

株価の上昇と配当収入の獲得の双方をバランス良く狙いつつ、投資を行いました。当作成期は、株式市場のボラティリティが高まったことからカバード・コール戦略が恩恵を受けたほか、キャッシュの保有がプラスに寄与しました。一方、金融やエネルギーセクターの銘柄が主にマイナスに寄与しました。

当作成期の主な売買としては、キャッシュレス決済の浸透を追い風として高い収益性が期待できる一方、株価下落によってバリュエーション(投資価値を測るための指標)が魅力的な水準となったVisaを新規に購入しました。一方、新型コロナウイルスの影響から事業環境の悪化が懸念された管理医療会社のHumanaを全て売却しました。

なお、株式および通貨のコール・オプションのカバー率はおおむね50%で運用しましたが、ファンドの信託期間の終了に伴い、満期が到来した株式オプションについてはポジションの再構築は行わず、4月末時点で株式オプションカバー率を0%としました。

以上のような運用の結果、保有する米国株式の下落と為替が円高米ドル安に推移したことがマイナス寄与し、当作成期の

基準価額（分配金再投資）は下落して、償還を迎えました。

#### 〈親投資信託〉

元本の安全性と流動性を重視して地方債を中心とする円建て公社債に投資し、プラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいに推移しました。

#### ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

#### ■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。

#### ◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2019年12月17日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月14日	2020年2月15日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
当期分配金	85	85	85	85	—
(対基準価額比率)	1.336%	1.342%	1.815%	1.788%	—%
当期の収益	85	83	84	85	—
当期の収益以外	—	1	0	—	—
翌期繰越分配対象額	792	790	790	796	796

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○設定来の運用経過

(2015年6月19日～2020年6月12日)

## ■設定来の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## ◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・米国経済および企業収益が堅調に推移したこと
- ・株式および通貨のオプション・プレミアムの獲得

マイナス要因

- ・FRB(米連邦準備制度理事会)による債券購入の削減などを背景に米国債券市場で金利が上昇する局面があったこと
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が大幅に下落したこと
- ・株価上昇による株式コール・オプションの評価損

## ■投資環境

### 【米国株式市場】

設定当初、米国株式市場は、好調な企業業績や中央銀行の緩和的な金融政策など背景に総じて堅調に推移しました。2016年の米大統領選ではトランプ氏が勝利し、同氏の公約であるインフラ投資の拡大や大規模減税への期待に加え、堅調な企業業績を背景として米国株式市場は上昇を続けました。2018年には米中間の貿易摩擦が激化しましたが、堅調な企業業績を背景に上昇基調を維持しました。2020年に入り新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、米国株式市場は大幅に下落しましたが、中央銀行の金融政策や主要国の財政出動などを背景に反発し、設定来では上昇しました。

### 【為替市況】

当ファンド設定来の米ドル円為替レートは、円高米ドル安となりました。特に運用期間の前半において、米国の景気後退懸念や原油価格の下落などからリスク回避姿勢が強まったことや、FRB要人の利上げに対する慎重な発言から円高米ドル安が進行しました。トランプ米政権が誕生すると、米国長期金利の上昇とともに円安米ドル高となる局面もありましたが、その後はボックス圏での推移となり、設定来では円高米ドル安の水準となりました。

## ■ポートフォリオについて

### <東京海上・米国高配当成長株ファンド(Wプレミアムコース)>

「ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)」(以下、外国投資信託証券)および「東京海上マネーブルマザーファンド」(以下、親投資信託)を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資)は、主に外国投資信託証券の値動きを反映し、11.2%下落しました。

### <外国投資信託証券>

株価の上昇と配当収入の獲得の双方をバランス良く狙いつつ、投資を行いました。設定来では、ヘルスケア、エネルギーセクターの銘柄はプラスに寄与しましたが、情報技術、金融セクターはマイナスに寄与しました。

設定来の主な売買としては、医療機器や治療のイノベーションによる成長機会や、高成長市場である新興国での市場シェア拡大期待などを評価し、医療機器メーカーなど購入しました。一方、ホームセンター運営企業は、バリュエーション水準を勘案して同社の業績見通しが織り込まれたと判断して全て売却し、相対的にバリュエーションが魅力的と判断した同業他社の株式を購入しました。

なお、株式および通貨のコール・オプションのカバー率はおおむね50%で運用しました。

上記の運用の結果、保有する米国株式の下落と為替が円高米ドル安に推移したことがマイナス寄与し、基準価額(税引前分配金再投資)は下落しました。

### <親投資信託>

元本の安全性と流動性を重視して政府保証債や地方債を中心とする円建て公社債に投資し、プラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいに推移しました。

## ■分配金

当ファンドの収益配分方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、収益分配を行いました。各期の分配金額につきましては、後掲の「投資信託財産運用総括表」をご覧ください。

当ファンドは、2020年6月12日をもちまして償還となりました。最後に、受益者の皆さまのご愛顧に心よりお礼を申し上げますとともに、今後とも当社ファンドにつきまして一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくご愛顧申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月17日～2020年6月12日)

項 目	第55期～第60期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.511	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 9 )	( 0.178 )	* 委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 17 )	( 0.323 )	* 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	( 0.011 )	* 運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.005 )	* 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	27	0.516	
作成期間の平均基準価額は、5,339円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

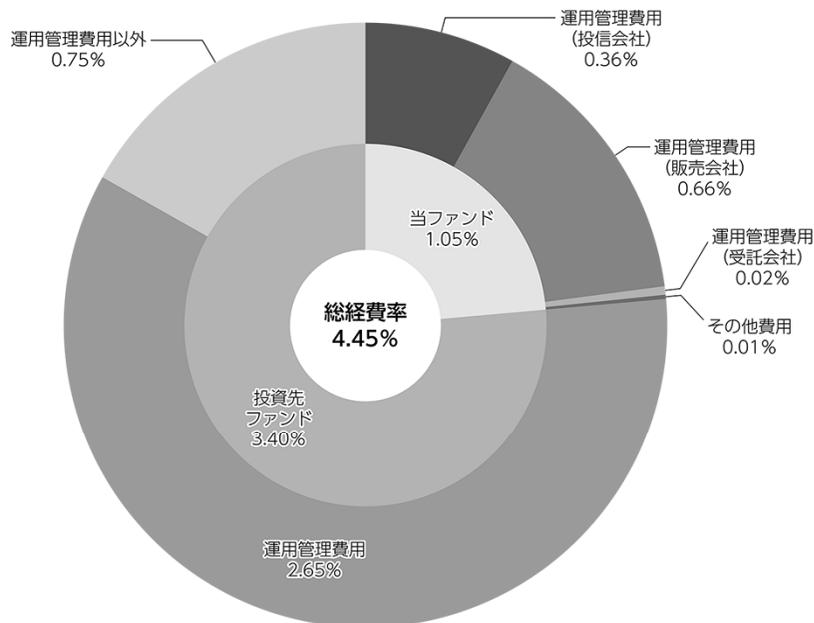
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.45%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	4.45
①当ファンドの費用の比率	1.05
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.65
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.75

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年12月17日～2020年6月12日)

## 投資信託証券

銘		柄	第55期～第60期			
			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	ケイマン	ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・ コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)	千口	千円	千口	千円
			—	—	139	574,097

(注) 金額は受渡代金です。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘		柄	第55期～第60期			
			設定		解約	
			口数	金額	口数	金額
		東京海上マネープールマザーファンド	千口	千円	千口	千円
			—	—	996	1,000

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年12月17日～2020年6月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年6月12日現在)

2020年6月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘		柄	第54期末	
			口数	千口
		ノース・アメリカン・エクイティ・インカム・カバード・コール・ストラテジー・ファンド(Wプレミアムクラス)		139
		合 計		139

## 親投資信託残高

銘	柄	第54期末	
		口	数
東京海上マネープールマザーファンド			千口 996

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月12日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 528,820	% 100.0
投資信託財産総額	528,820	100.0

## ○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	償還時
	2020年1月14日現在	2020年2月14日現在	2020年3月16日現在	2020年4月14日現在	2020年5月14日現在	2020年6月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	838,069,511	821,265,610	612,848,052	600,212,289	559,946,619	528,820,881
コール・ローン等	53,091,764	39,602,781	47,345,256	27,527,173	31,170,528	528,820,881
投資信託受益証券(評価額)	783,977,947	780,663,029	564,502,796	571,685,116	527,776,091	—
東京海上マネープールマザーファンド(評価額)	999,800	999,800	1,000,000	1,000,000	1,000,000	—
(B) 負債	11,884,864	12,865,346	12,740,017	11,203,516	504,392	458,278
未払収益分配金	11,191,023	10,993,975	11,094,683	10,726,249	—	—
未払解約金	—	1,132,870	995,080	—	—	—
未払信託報酬	686,556	730,802	643,372	472,296	499,116	451,052
未払利息	71	21	125	14	37	2,490
その他未払費用	7,214	7,678	6,757	4,957	5,239	4,736
(C) 純資産総額(A-B)	826,184,647	808,400,264	600,108,035	589,008,773	559,442,227	528,362,603
元本	1,316,590,991	1,293,408,928	1,305,256,889	1,261,911,650	1,228,564,475	1,148,190,349
次期繰越損益金	△ 490,406,344	△ 485,008,664	△ 705,148,854	△ 672,902,877	△ 669,122,248	—
償還差損金	—	—	—	—	—	△ 619,827,746
(D) 受益権総口数	1,316,590,991口	1,293,408,928口	1,305,256,889口	1,261,911,650口	1,228,564,475口	1,148,190,349口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,275円	6,250円	4,598円	4,668円	4,554円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	—	4,601円70銭

(注) 当ファンドの第55期首元本額は1,314,494,461円、第55～60期中追加設定元本額は41,440,080円、第55～60期中一部解約元本額は207,744,192円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり償還(基準)価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	2019年12月17日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月14日	2020年2月15日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日	2020年5月15日～ 2020年6月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	11,737,162	11,575,777	11,718,350	11,739,062	△ 1,507	△ 6,531
受取配当金	11,740,332	11,577,566	11,720,623	11,740,332	—	—
受取利息	—	81	12	28	111	89
支払利息	△ 3,170	△ 1,870	△ 2,285	△ 1,298	△ 1,618	△ 6,620
(B) 有価証券売買損益	6,150,700	△ 3,100,790	△215,672,548	8,293,644	△ 13,497,547	5,983,774
売買益	6,168,826	244,475	487,773	8,287,806	444,808	6,321,510
売買損	△ 18,126	△ 3,345,265	△216,160,321	5,838	△ 13,942,355	△ 337,736
(C) 信託報酬等	△ 693,770	△ 738,480	△ 650,129	△ 477,253	△ 504,355	△ 455,788
(D) 当期損益金(A+B+C)	17,194,092	7,736,507	△204,604,327	19,555,453	△ 14,003,409	5,521,455
(E) 前期繰越損益金	△390,556,494	△375,993,419	△378,493,220	△570,964,810	△543,901,832	△521,407,856
(F) 追加信託差損益金	△105,852,919	△105,757,777	△110,956,624	△110,767,271	△111,217,007	△103,941,345
(配当等相当額)	( 19,489,623)	( 19,540,891)	( 20,643,341)	( 20,443,592)	( 20,384,418)	( 19,050,898)
(売買損益相当額)	(△125,342,542)	(△125,298,668)	(△131,599,965)	(△131,210,863)	(△131,601,425)	(△122,992,243)
(G) 計(D+E+F)	△479,215,321	△474,014,689	△694,054,171	△662,176,628	△669,122,248	—
(H) 収益分配金	△ 11,191,023	△ 10,993,975	△ 11,094,683	△ 10,726,249	0	—
次期繰越損益金(G+H)	△490,406,344	△485,008,664	△705,148,854	△672,902,877	△669,122,248	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	—	△619,827,746
追加信託差損益金	△105,852,919	△105,757,777	△110,956,624	△110,767,271	△111,217,007	—
(配当等相当額)	( 19,489,623)	( 19,540,891)	( 20,643,341)	( 20,443,592)	( 20,384,418)	( —)
(売買損益相当額)	(△125,342,542)	(△125,298,668)	(△131,599,965)	(△131,210,863)	(△131,601,425)	( —)
分配準備積立金	84,800,933	82,756,746	82,565,121	80,070,964	77,473,733	—
繰越損益金	△469,354,358	△462,007,633	△676,757,351	△642,206,570	△635,378,974	—

(注) (B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2019年12月17日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月14日	2020年2月15日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	11,281,974円	10,837,425円	11,068,389円	11,459,625円	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	19,489,623円	19,540,891円	20,643,341円	20,443,592円	20,384,418円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	84,709,982円	82,913,296円	82,591,415円	79,337,588円	77,473,733円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	115,481,579円	113,291,612円	114,303,145円	111,240,805円	97,858,151円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	877円	875円	875円	881円	796円
g. 分配金	11,191,023円	10,993,975円	11,094,683円	10,726,249円	0円
h. 分配金(1万口当たり)	85円	85円	85円	85円	0円

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年6月19日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年6月12日			資産総額	528,820,881円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	458,278円	
受益権口数	3,371,541,567口	1,148,190,349口	△2,223,351,218口	純資産総額	528,362,603円	
元本額	3,371,541,567円	1,148,190,349円	△2,223,351,218円	受益権口数	1,148,190,349口	
				1万円当たり償還金	4,601円70銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	4,784,969,371円	4,745,372,775円	9,917円	－円	－%	
第2期	5,450,543,927	5,364,593,522	9,842	85	0.85	
第3期	5,982,412,605	5,342,213,017	8,930	85	0.85	
第4期	6,126,325,160	5,570,779,607	9,093	85	0.85	
第5期	6,238,255,080	5,767,599,902	9,246	85	0.85	
第6期	6,497,957,189	5,849,111,776	9,001	85	0.85	
第7期	6,534,271,593	5,427,326,453	8,306	85	0.85	
第8期	6,367,593,052	4,968,800,493	7,803	85	0.85	
第9期	6,220,007,152	5,196,433,154	8,354	85	0.85	
第10期	5,892,486,954	4,816,437,428	8,174	85	0.85	
第11期	5,869,156,554	4,728,413,102	8,056	85	0.85	
第12期	5,584,973,431	4,415,795,589	7,907	85	0.85	
第13期	5,374,428,404	4,263,696,397	7,933	85	0.85	
第14期	5,195,747,943	4,008,859,602	7,716	85	0.85	
第15期	4,942,101,168	3,732,063,302	7,552	85	0.85	
第16期	4,704,739,491	3,570,416,801	7,589	85	0.85	
第17期	4,577,736,542	3,597,537,777	7,859	85	0.85	
第18期	4,559,692,369	3,894,423,846	8,541	85	0.85	
第19期	4,224,735,989	3,553,867,764	8,412	85	0.85	
第20期	4,167,766,582	3,490,699,605	8,375	85	0.85	
第21期	3,805,906,560	3,216,762,980	8,452	85	0.85	
第22期	3,590,407,955	2,840,632,662	7,912	85	0.85	
第23期	3,534,762,833	2,915,479,501	8,248	85	0.85	
第24期	3,415,956,307	2,782,500,789	8,146	85	0.85	
第25期	3,026,959,997	2,507,109,830	8,283	85	0.85	
第26期	2,844,232,330	2,260,939,005	7,949	85	0.85	
第27期	2,732,349,433	2,210,542,192	8,090	85	0.85	
第28期	2,376,202,984	1,947,550,479	8,196	85	0.85	
第29期	2,083,739,617	1,711,180,673	8,212	85	0.85	
第30期	1,853,284,880	1,531,682,035	8,265	85	0.85	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	1,830,957,150円	1,512,220,551円	8,259円	85円	0.85%
第32期	1,705,307,006	1,296,643,398	7,604	85	0.85
第33期	1,663,884,505	1,260,724,194	7,577	85	0.85
第34期	1,604,771,223	1,185,485,191	7,387	85	0.85
第35期	1,581,711,675	1,184,395,967	7,488	85	0.85
第36期	1,543,310,526	1,149,563,552	7,449	85	0.85
第37期	1,469,815,648	1,100,699,975	7,489	85	0.85
第38期	1,432,409,964	1,053,975,243	7,358	85	0.85
第39期	1,406,390,821	1,047,304,216	7,447	85	0.85
第40期	1,404,644,804	999,455,542	7,115	85	0.85
第41期	1,402,629,023	986,283,060	7,032	85	0.85
第42期	1,401,948,227	954,869,212	6,811	85	0.85
第43期	1,407,468,443	896,667,577	6,371	85	0.85
第44期	1,394,532,209	926,359,221	6,643	85	0.85
第45期	1,373,140,382	914,693,972	6,661	85	0.85
第46期	1,366,645,843	913,057,976	6,681	85	0.85
第47期	1,353,385,769	853,300,604	6,305	85	0.85
第48期	1,357,501,697	854,474,802	6,294	85	0.85
第49期	1,381,205,145	877,366,188	6,352	85	0.85
第50期	1,376,961,059	831,809,272	6,041	85	0.85
第51期	1,379,901,863	851,874,018	6,173	85	0.85
第52期	1,376,585,195	828,352,486	6,017	85	0.85
第53期	1,326,046,485	820,153,881	6,185	85	0.85
第54期	1,314,494,461	818,874,377	6,230	85	0.85
第55期	1,316,590,991	826,184,647	6,275	85	0.85
第56期	1,293,408,928	808,400,264	6,250	85	0.85
第57期	1,305,256,889	600,108,035	4,598	85	0.85
第58期	1,261,911,650	589,008,773	4,668	85	0.85
第59期	1,228,564,475	559,442,227	4,554	0	0.00

## ○分配金のお知らせ

	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
1 万口当たり分配金 (税込み)	85円	85円	85円	85円	0円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税込み)	4,601円70銭
------------------	-----------